

市議会 総務常任委が行政視察 鹿児島市と宇城市、熊本市へ

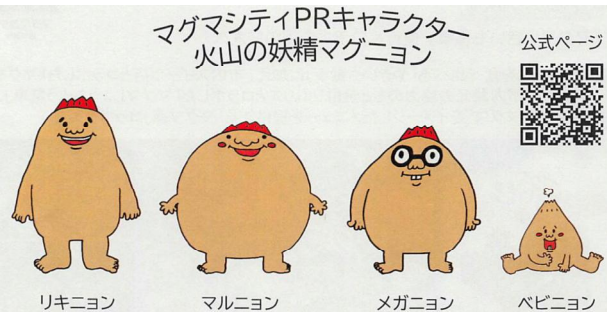
鶴岡市議会総務常任委員会（佐藤昌哉委員長）は、10日から12日まで、鹿児島市、宇城市、熊本市で行政視察をおこなう、加藤鉦一議員が参加しました。

鹿児島市

鹿児島市では10日、「シティプロモーション戦略ビジョン」について、説明を受けました。

鹿児島市シティプロモーションは、「まちの魅力や価値の発掘・創造・磨き上げを行い、国内外に発信」

「都市イメージを高める」「鹿児島ファンを増やす」取り組みです。市のシンボル「桜島」の噴火を、「マグマ」熱い人々の心」と結んで、第1期（2018年〜21年）で、シンボルマ



ーク「マグマシティ鹿児島市」と、PRキャラクター「マグニオン」を作成し、情報拡散してきました。関係人口や移住者を増やすために、様々な「体験講座」や「マグマやきいも電車」、東京・渋谷での「鹿児島焼酎&ミュージックフェス」などを企画してきました。

第2期（22年〜26年）

では、認知・魅力度は向上したが、他都市との差異化が必要であり、20代・30代の移住につながる可能性の高い層をメインターゲットにして、楽しみながら事業や地域活動を企画しています。

桜島の夜の魅力創出のためのキャンドルナイトや、特産のお茶に特化して地域を売り出すチーム、30年ぶりに地域の伝統芸能を復活させたチームなどが生まれています。

鹿児島市は西郷隆盛の縁で鶴岡市と兄弟都市であり、鹿児島市議会の川越桂路議長と、

三反園輝男副議長の歓迎を受けました。宇城市「くまもと☆農家ハンター」

宇城市では11日、「くまもと☆農家ハンター」プロジェクトリーダーの稲葉達也さんから、説明を受けました。

「くまもと☆農家ハンター」は、イノシシ被害から地域を守る活動を展開しています。



農家でもできる「箱ワナ」による捕獲を行い、電気銃で刺殺後、解体処理して、ジビエや皮製品、堆肥の原料として供給しています。捕獲頭数は年1000頭の実績で、被害を軽減させてきました。株式会社イノPを立ち上げ、ジビエの生産管理から、農家ハンターの育成や、鳥獣対策

村の四季

53

鈴木重雄（八色木）

茅（谷地）刈り

村の茅（谷地）刈りは、毎年11月15日と決めていたが、この時期は越冬野菜の収納や雪囲いで忙しかった。

八栄島と長沼の土地は、藤島川と京田川に挟まれた肥沃な土地である。

藤島川流域の松嶺街道、羽越線跨線橋から川に沿って農道があった。ここから西方に急カーブしていたので、分かれ口から八色木村までは、土砂の堆積によって畑地が造成された。川に沿って豊栄の西川原集落までは、狐や狸も棲む野鳥の宝庫であった。

川の兩岸、川辺は、茅刈場である。顔は見えないが四方山話をしながらの作業である。兩岸の人たちは冗談を交えながら、顔が見えたら改めて挨拶しているコンサルタントなどを行っていきます。令和4年度総務省「ふるさとづくり大賞」優秀賞など、多くの受賞歴があります。

熊本市

熊本市では12日、「市役所改革プラン」について、説明を受けました。

その中で特に、オフィス改革として、コクヨ(株)との連携協定による「自席なし、引き出しのないデスク、自

た。秋日和ののどかな風景である。

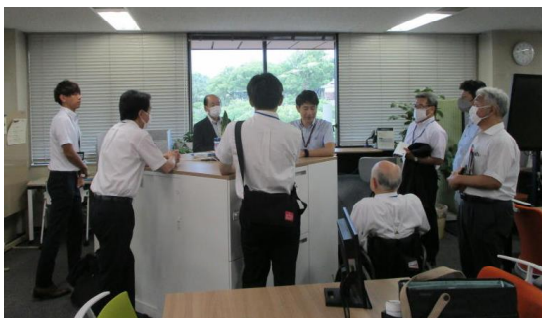
吹雪山（ふきやま）

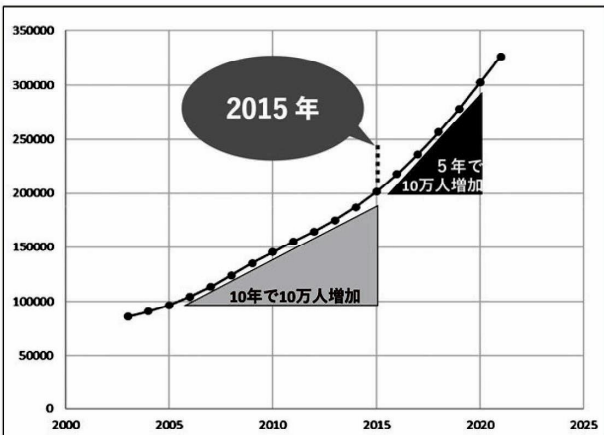
鶴岡から松嶺までの街道に何箇所かの吹き山があったが、特に難所と言われたのが上藤島、八色木、大野村であった。

八色木下区の村はずれは、日本海から吹きつける吹雪が、小鷹伝治郎さんの家に吹き当たる。雪囲いを越えて電線に手の届く位の高さであった。子どもたちは初級者から上級者まで、スキーや箱そりで遊ぶ格好の場所であった。

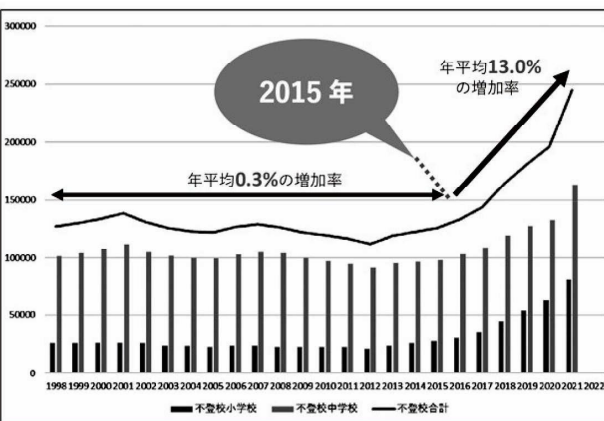
小鷹家の当主伝太郎さんは、一杯機嫌になると、「八色木名物吹き山、雪は白いが、わしや黒い」と歌い、座を盛り上げていた。伝太郎さんは浅黒い健康色の人であった。

由なオフィス」での実証実験が注目されました。ペーパーレスが推進され、コミュニケーションが促進されるなど、効果をあげています。





〈図1〉特別支援学級在籍者の推移（文部科学省「教育委員会における学校の業務改善のための取組状況調査結果」をもとに筆者作成）



〈図2〉不登校児童生徒数の推移（文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」をもとに筆者作成）

特別支援や不登校が急増 小規模校の良さを見直して

『実践みんなの特別支援教育』23年6月号に、特別な支援の必要な児童生徒や、不登校児童生徒が、大きく増えていることが示されています。（右図・23頁）

県内初の小中一貫校の萩野学園（新庄市）でも、特別な支援を要する児童生徒数は、平均で38・8%と報告されています。（下表）

様々な個性を持った児童生徒が増えているもとで、従来の様に少子化だから学校統廃合はやむを得ないという選択は、大きなリスクになっています。

萩野学園 特別な支援を要する児童生徒数

※普通学級の統計					小計	児童生徒数	%
S	A	B	BC				
1年	3	4	1	3	11	41	26.8
2年	4	1	4	6	15	36	41.7
3年	2	0	1	8	11	37	29.7
4年	4	2	3	5	14	39	35.9
5年	3	2	3	10	18	40	45.0
6年	2	4	2	10	18	33	54.5
7年	3	3	4	9	19	46	41.3
8年	2	4	2	11	19	44	43.2
9年	1	4	0	7	12	37	32.4
	24	24	20	69	137	353	38.8

鶴岡市HP→藤島地域教育振興会議→令和4年度第2回藤島地域教育振興会議→資料

様々な個性の子どもたちが多く、担任教師すら手を焼いている。授業が始まると保健

小規模校こそ最適であり、100年の歴史ある地域の宝を、簡単に捨ててはなりません。

小学生を育てるのは、室に行く子ども多い」と語っています。

しかし、私だけが落ちたのだろうか。落とし穴がある。

修理保存を終え、現在活用されている議事堂平面図であり、特に注意したいのは、右端の3部屋がある付属棟である。

使用名は変わったが、建設当初からあったと勘違いしていないだろうか。こういう私はずーっと勘違いしてきたのである。

この物語を書くため、資料の裏づけがあり、もっとも信用できる『山



だから持たないヨ

こんなに国民が反対しても、来年秋には実施するという健康保険証の廃止でマイナカード化。当然の事ながら内閣不支持率が支持率を上回ったんだ。

▲多く見せたい気持ちに分かるが、発行枚数とは、正に発行枚数そのものだ。だから、亡くなった人や返納した数が490万枚を超えているのに、発表していなかったんだと。発行枚数が住民の数を超えている村があるって。よっぽど焦っている。

1兆円も使った事だし。しかし、知らなかったナ。マイナカードが発行されて6〜7年もあるんだって事。ま・持っているても、タンスのコヤシってとこなんだけども。

▲俺の掛かりつけの医者では、受診券と後期高齢者保険証を窓口で

形県指定有形文化財建造物「旧東田川郡役所及び郡会議事堂修理工事報告書」を読み返してみた。

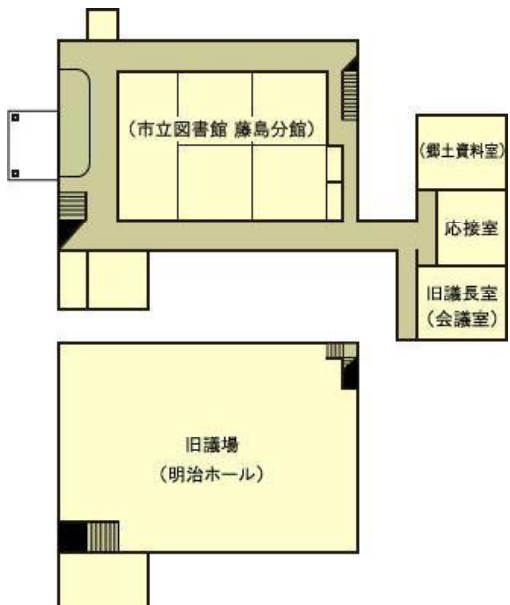
創建当時の平面図と、その後増築の付属棟を含む平面図を並べて図示している。

増築を示す資料として、昭和13年8月15日付など昭和13年の新聞が数種発見されている。なお建物全体では、創建時と違う部分は幾つかある。調べる時には必ず参考にして欲しいと思う。

旧長沼小学校では

かつて旧長沼小学校に勤務していた元教師は、「小規模校だから、教職員全員がすべての子どもを理解し、保護者だけでなく地域の人も日常的に応援し、子どもがしっかりと守られていた。

しかし、鶴岡地域のナンバースクールは、



旧東田川郡会議事堂平面図（I・2階）

図は案内書などで見かける旧東田川郡会議

事堂平面図（I・2階）である。

東田川史跡物語 東田川史跡と私ー旧東田川郡 会議事堂の勘違い 青山 崇